

車輪脱落事故防止についてのお願い

近年、ホイール・ボルトの折損等による大型自動車の車輪脱落事故が増加しています。

2021年度の大型自動車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）の車輪脱落事故の発生件数は123件（うち人身事故は5件）、前年度に比べ8件減少しましたが、統計史上2番目の発生件数となっております。特に11月から2月に79件（全体の約64%）発生しており、大型自動車の車輪脱落事故は冬期に発生する傾向にあります。

原因としまして、ホイール・ナットの不適切な締付け（トルク不足など）や、ホイール・ボルト及びナットの経年劣化が疑われるものが多くを占め、又車輪脱着作業後1か月以内の発生が77件（全体の約62.6%）を占めていました。

運行前やタイヤ交換作業等にあたっては、著しく錆びたホイール・ボルト、ナット、ディスク・ホイールでは適正な締付け力が得られないため、点検・清掃を行っても錆が著しいディスク・ホイールや、スムーズに回らないボルト、ナットは交換が必要です。

車輪の脱落は、人命に係る重大な事故を引き起こすおそれがあります。

つきましては、車載の「取扱説明書」や自工会チラシ「お・ち・な・い」、「トレーラのホイール・ナット締付け要領について」を参照していただき、下記の4点を徹底し事故の無いように運行をお願い致します。

1. ホイール・ボルト及びホイール・ナットの錆や汚れの清掃、並びにエンジン・オイルの給脂
2. ホイール・ナットの規定トルクでの締め付け
3. タイヤ交換後、50～100km走行後の増し締め
4. 日常（運行前）点検での確認

*関連資料

- ・国土交通省プレスリリース 2022年9月30日大型車のホイール・ナットの緊急点検を行います！
- ・トレーラのホイール・ナット締付け要領について [PDF/187KB]

以上